

## IV 情報・交流

霞ヶ浦などの県内の湖沼をはじめ水環境や大気環境、化学物質などについての研究成果や市民活動の情報など様々な情報を、インターネット等を利用して積極的に収集・整理・発信し、センターの機能である「情報・交流」の面から市民・企業・研究者・行政を結ぶ霞ヶ浦情報ネットワークの充実を図った。



### 1 情報収集発信事業

#### (1) 広報紙等のホームページへの掲載

- センター要覧(年1回)
- センター年報(年1回)
- センターのイベント案内(随時)

#### (2) センター施設での情報提供の充実

##### ア 図書の閲覧、貸出

主に環境関係の図書及び逐次刊行物を交流サロン及び文献資料室に配置  
 ・所蔵図書 30,064冊(うち貸し出し可能な図書 9,056冊)

### 2 センターホームページ等の充実

#### (1) センター行事の発信

- ア センターで実施するイベント情報の発信
- イ ブログを活用した情報発信



センターホームページ

#### (2) 市民団体及び市町村の情報発信

- ア 環境保全活動に取り組む市民団体及び市町村のイベント等の紹介
- イ 活動機材の紹介
- ウ サポーター・パートナー制度の紹介

(3) 研究成果等の発信

- ア 水質等のデータ公開
- イ センター主催のセミナー・シンポジウムの紹介
- ウ 研究状況の紹介

(4) 環境教育

霞ヶ浦自然観察会、霞ヶ浦出前講座及び霞ヶ浦学講座等の紹介

(5) SNSの活用

ツイッターやフェイスブックによる情報発信



[フェイスブック](#)

[ツイッター](#)

[インスタグラム](#)

※名称をクリックすると当センターの該当SNSに移動します。

3 研究成果発表会の開催(オンライン形式)

- ・開催日時 令和4年3月4日(金) 14:00~16:20
- ・場 所 茨城県霞ヶ浦環境科学センター 多目的ホール  
ポスター発表はロビーに掲示及びホームページに掲載
- ・参加者 Zoom接続数 67 (客員研究員4、県8、国研究機関・大学17、他県・市町村22、企業・市民団体・県民等16)
- ・特別講演 「浅い湖沼：霞ヶ浦の水質特性」センター長 福島 武彦
- ・発表タイトルと発表者

(口頭発表)

- |                                   |         |    |       |
|-----------------------------------|---------|----|-------|
| ① 夏季の北浦における水温成層及び貧酸素水塊の形成と消失条件の検討 | 湖沼環境研究室 | 北村 | 主任研究員 |
| ② 巴川・鉾田川流域における窒素負荷量の推移と河川水質への影響   | 湖沼環境研究室 | 大内 | 主任    |
| ③ 県内3地区のハス田群の環境負荷とその改善策の提案        | 湖沼環境研究室 | 佐野 | 主任研究員 |
| ④ 浄化導水による新川の水質変化                  | 湖沼環境研究室 | 古川 | 流動研究員 |
| ⑤ 近年の牛久沼の水質変化とその要因                | 湖沼環境研究室 | 長濱 | 主任    |



研究成果発表会（多目的ホール）

（ポスター発表）

- ① 航空機騒音は環境基準を達成している？  
～百里飛行場周辺における航空機騒音実態調査～  
大気・化学物質研究室 田畑 室長
- ② 茨城県の空気はきれいになった？  
～茨城県における有害大気汚染物質調査について～  
大気・化学物質研究室 豊岡 主任研究員
- ③ 似た化合物の分離はどうする？  
～酸化エチレン・酸化プロピレンの GCMS 分析条件の改良～  
大気・化学物質研究室 吉田 主任
- ④ 大気中の PM2.5 は改善した？  
～茨城県における微粒子状物質（PM2.5）の推移～  
大気・化学物質研究室 小田 主任